

まがゆ

「主が油を注いだ」

「主なる神の霊が私に臨んだ。主が私に油を注いだからである。」

(イザヤ書 第61章1節・旧約聖書1146頁)

はじめに

イザヤ書の後半は、誰もが待ち望んでいた救いが、救い主の到来によって現実のものになっていくことが記されています。主の十字架によってもたらされた「贖い」は、特にこのイザヤ書にはっきりと預言されており、主イエスの十字架によって実現に至りました。その贖いのわざを受け入れることにより、神との関係が回復し、闇に打ち勝ち、主の栄光を表すに至るのだと申し上げてきました。それはこの箇所において、私たちに与えられた使命としてさらに深みを増していきます。

神の霊が

主イエスが肉体を帯びてこの地上に降られたのは、自分の命を贖いの代価にするためでした。血を流さずして贖いが成し遂げられなかったからです。そしてその罪に打ち勝った証拠として復活され、昇天されました。しかし、その主イエスは「私たちと共におられる」お方です。その約束はペンテコステにおいて実行されました。肉体ではありませんが、主の霊である聖霊が一人一人に降ったのです。これにより、私たちは主イエスと共に生きることができるようになりました。「神の霊が私に臨んだ」のです。

この恵みを受けたのは、「主が私に油を注い」でくださったからなのです。

油を注がれた者

「油を注ぐ」とは何なのでしょう。ヘブライ語ではメシヤという語が使われています。そうです。救い主を表す言葉です。そしてこの言

葉はメシヤ、主イエスを指す言葉ともなりました。ギリシア語の「キリスト」も同義語です。

しかし、聖霊が降った後、油注がれた者を指す対象は「主イエスを信じる者」に移行していきます。弟子ヨハネは、「あなたがたは聖なる方から油を注がれているので、皆、真理を知っています。」(ヨハネー2:20)と記し、真理、すなわち、神からの救いを受けた者たちであると位置づけました。主はご自身が活動を始められる際、この言葉が今実現したと宣言されましたが(ルカ4:21)、私たちもまた、聖霊が臨んでいる事実を受け止め、それが油注がれた者である、選ばれた者であるからなのだとの自覚をすべきなのです。そして、主イエスのように、この救いをわざを表せる者として証ししていくべき使命を帯びていることを確認したいと思います。

弾圧の時代

1942年、それまで共産党に集中していた激しい思想弾圧が宗教団体に向けられていきます。キリスト教会に中で特にホーリネスが標的にされました。当時の信徒たちはその中を通されたのですが、今、この時代、私たちはもっと恐ろしい弾圧に襲われています。サタンは救いが必要と思われぬような、ある一定の満足感を与え、信仰を求める力をそいでいるのです。私たちの働きは重要です。今こそ、使命を託された者としてこの救いを表していく、その時が来ています。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



今週の祈り

「主なる神の霊が私に臨んだ。主が私に油を注いだからである。苦しむ人に良い知らせを伝えるため主が私を遣わされた。心の打ち砕かれた人を包み 捕らわれ人に自由をつながれている人に解放を告げるために。主の恵みの年と 私たちの神の報復の日とを告げ すべての嘆く人を慰めるために。シオンの嘆く人に 灰の代わりに頭飾りを 嘆きの代わりに喜びの油を 沈む心の代わりに賛美の衣を授けるために。彼らは義の大木 主が栄光を現すために植えられた者と呼ばれる。」(イザヤ書 60:1～3)



「あなたがたは聖なる方から油を注がれているので、皆、真理を知っています。」(ヨハネの手紙一 2:20)

神さま、私が「油を注がれた者」、神さまの恵みを告げ知らせる者として選ばれていることを知りました。あからさまな弾圧がないようには思いますが、その背後でサタンは巧みに神を求める思いをそいでいることも知りました。そのような恐ろしい世の中の流れに、どのようなことができるかわかりませんが、どうぞ私を用いてください。御名によってお祈りいたします。アーメン。

深読みにチャレンジ!

箴言 (59) 第3章21節

*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「子よ、よき考えと慎みを保ち 見失うことのないようにせよ。」

◎口語訳 「わが子よ、確かな知恵と、慎みとを守って、それをあなたの目から離してはならない。」

◎新改訳 「わが子よ。すぐれた知性と思慮とをよく見張り、これらを見失うな。」

「よき考え」

「ちょっと目を離した隙に、子どもがいなくなった」。時々聞くことですが、それが最悪の事態になることもあります。見失ってしまうのは、目を離してしまうからで、父は子に対して、注意を促しています。

さて、私たちが見失ってはならないものとして「よき考え」と「慎み」が挙げられています。慎みとはそれまでの親から授かった知恵をおろそかにせず、また自分勝手な行動を控えることです。ですから、何かの教えと言うよりも、自分がとるべき態度を確認しているのですが、「よき考え」のほうは、自分が教えられ、また学んだ価値観を指しています。

口語訳では「確かな考え」、新改訳では「すぐれた知性」と訳されているこの語は、「健全さ」に重点が置かれている言葉です。つまり、何か問題があるならば、支障が出てきますし、病的

【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
 - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
 - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
 - c アゲルの言葉 (30:1～33)
 - d レムエルの言葉 (31:1～31)

であるならば、良い結果をもたらすような方向にはいきません。健全であるならば、どの方面にもそれが良い結果をもたらす要因となります。

自分の価値観に少しでも問題があるならば、それはその人の持つ人間関係にも影響が現れてきます。人間関係がうまくいかないのは、自分の持っている価値観が「よき考え」つまり、健全ではないからではないかと、疑問を持つところから始めるべきだと思います。健全な考え方は主から与えられ、自分を生かし、また周囲との関係をも祝福すると、知るべきです。

聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

【月曜日】◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

申命記第28章12節「主は恵みの倉である天を開いて、あなたの地に季節に応じて雨を降らせ、あなたの手の業すべてを祝福される。あなたは多くの国民に貸すようになるが、借りることはない。」◆私たちは毎日悲惨な出来事を見聞きしている。それは「正気を失う」(34)ほどで、まさに次から次へと起こり、心がかき乱されるような思いである。そして、将来をも悲観するようになる。なぜ心が弱くなるのか。神に目を向けていないからだ。私たちに2つの選択肢がある。神に近づくな、逆境にも耐えられる恵みが注がれることを知るであろう。

●賛美／317 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

【火曜日】◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

申命記第29章4節「私は四十年の間、荒れ野であなたがたを導いたが、あなたがたの着ている服は擦り切れず、足の履物もすり減らなかつた。」◆何もない過酷を極める荒れ野の生活で、彼らは「神がおられる」ことを知る。まず、不思議なように水が供給されていたこと、毎日食物が与えられたこと。約200万人もいながら、40年間餓死者がでなかつた。道に迷いもしなかつた。そして衣も古びなかつた。神の奇跡である。私たちがこのことを信じるならば、私たちにも神が生きておられることがわかるはずだ。

●賛美／318 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

【水曜日】◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

申命記第30章2節「あなたの神、主のもとに立ち帰り、私が今日命じるように、あなたの息子たちと共に、心を尽くし、魂を尽くして、主の声に耳を傾けなさい。」◆今まで神を信じていなかったとしても、かまわない。神に逆らっていても、生活が乱れていたとしても、気にすることはない。問われているのは「今日」だからだ。神は寛容な方で、私たちがそれまでのような態度をしていたとしても、「今日」神を信じ、神のもとに帰ることを待たされる。立ち帰った時にこそ、私たちは今までの愚かさ気づくと同時に、慰め、いやされるのである。

●賛美／319 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

申命記第31章19節「あなたがたは今、次の歌を書き留め、イスラエルの人々に教え、彼らの口に置きなさい。そうすればこの歌は、イスラエルの人々に対する私の証言となる。」◆「次の歌」とは32章を指している。神は約束の地に入るとさまざまな誘惑があり、たちまちに他の神々を信じるようになるだろうと語られた。物質で豊かにされると、心が満たされているように勘違いし、人間はさらに欲をむさぼるように物へと向かっていく。それこそがほかならぬ神々、偶像である。その時々には私たちは神への賛美をもって、自分のいるべき、真の立ち位置を確認するのだ。

●賛美／320 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

申命記第32章47節「これは、あなたがたにとって空しい言葉ではなく、あなたがたの命だからである。この言葉によって、あなたがたは…長く生きることができる。」◆この章の賛美は荒れ野の旅を振り返り、神が真の神であり、救いを成し遂げられる神であること、その神への従順を貫くことや、これからも共にいて、私たちを守られることなどが歌われている。「空しい」とは「偶像」と同じ語で、空虚と偽りを表している。神以外のものは空しく、はかなく消えていく。だが、この言葉信じ切るなら、それがあなたのいのちとなる。

●賛美／321 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

申命記第33章3節「民を心から愛し 聖なる者をすべて御手の内に置かれる。彼らはあなたの足元に導かれ あなたの言葉を受ける。」◆申命記自体がモーセの告別説教、遺言でもあるのだが、この章はまさにその最後の言葉である。死の迫った人間が残す最後の言葉は、その人の生き方を示すように思う。かのイギリス首相だったチャーチルは最後に「何もかもつまらない」と言ったというが、モーセは神の懷に抱かれた平安の中で、神の民たちに「神に救われた私たちはしあわせである」と語ることができた。モーセにならいたい。

●賛美／322 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

申命記第34章10節「イスラエルには、再びモーセのような預言者は現れなかった。主が顔と顔を合わせて彼を選び出された」◆モーセは親しく神と語ることを許された。それだけではなく、民の罪に怒る神の前にも出ることができ、民の執り成しを行うことが許されていた。私たちもまたモーセのように出させていたどうかではないか。そのためには主イエスの御名が必要である。主イエスが私たちのために十字架で死んでくださった。それによって、神は私たちを義と認め、顔を合わせてくださることを許してくださるのだから。

●賛美／323 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



おやごでせいしよ

●きょうのせいしよ

【ヨシュアき 1:1~18】

「モーセの つぎのリーダーは」
(ヨシュアき 1:5)

イスラエルのひとたちを エジプトから、かみさまが あたえてくださると やくそくしてくださった とちにすすんでいく せんとうにはいつもモーセがいました。モーセは 40 ねんの あいだ、ときには かみさまにさからい、ときには モーセに もんくをいつてきた たみたちを いのちをかけて みちびいてきました。かみさまが そのようにするようにと いわれたからです。

いま、やっと やくそくのちにはいるところまでできました。でも、モーセは かみさまから やくそくのちには はいれないと いわれていました。ざんねんですが、かみさまの ごめいれいですから、したがわなければなりません。どうじに これからは、いつも モーセのそばにいて おてつだいをしていた ヨシュアが イスラエルの ひとたちの リーダーになりなさいと

いわれたのでした。

ヨシュアは ときどきです。でも、かみさまのごめいれいですから、イスラエルのたみたちの せんとうに たちました。かみさまはいいました。「おそれてはならない。わたしは モーセとともにいたように、あなたとともにいる」。なんという、ちからづよい おことばでしょう。ヨシュアは このことばに ちからづけられて たちあがりました。

かみさまは「あしのうらで ふむところは すべて あなたがたに あたえる。みぎにも ひだりにも それてはならない。ただ、わたしにしたがいなさい。そうしたら、かならず かみさまからの しゆくふくを いただく」と、ヨシュアにかたりました。ヨシュアは、そのことばをしんじ、やくそくのちにはいっていったのでした。

みんなも、かみさまの やくそくをしんじ、かみさまがかなえてくださることをうたがわず、おそれず、つよく、おおしくすすんでいきましょう。

●かんがえてみよう

☆モーセのつぎに イスラエルの ひとたちの リーダーになったのは だれですか。
(ヨシュアき 1:1, 5)

☆かみさまは ヨシュアに どんなことを いわれましたか。(ヨシュアき 1:3, 7, 9)

☆イスラエルのひとたちは ヨシュアに どんなことを いていますか。
(ヨシュアき 1:18)



なみむ聖書

もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

せいごうを おさめる

め		せ	こ					
							さい	
い		さ		お		せ	う	め
	さい		る	お	う	を		
お		う	い		せ	る	こ	さ
	せ	を	さ	こ				
う	い	め	る	せ	を		お	
			う	さ	こ		い	る
さ	る			め		を	せ	う

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。教えてください。

- ① あらゆるうしかち
- ② りよくしょう
- ③ あらしのう
- ④ つたいれ

まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





牧師の 聖書 ななめ読み

「乗り物酔い」

台湾に行かなければならない用事があり、せっかくならばと、夫婦で出かけました。特に佳代子先生にはご負担をかけてしまい、申し訳なく思っていますが、とにかかにも無事に帰ってくることができました。お祈りありがとうございました。

移動の際の私の悩みは乗り物酔いでして、今回、羽田から台北までの3時間弱ならばなんとかなるだろうと、搭乗したまでは良かったのですが、まず、30分過ぎた頃、機内食が出てきまして、食べてし

まったのがよくなかったのか(おいしくありませんでしたので)、その直後から、胸のあたりがワクワクではなく、ムカムカしてきまして、残りの1時間は、「早く着いてくれ!」状態になってしまいました。

しかも、じっと吐き気と戦っている私に、隣の席の高齢の女性が話しかけてきて、しかも、しゃべるはしゃべる。止めどなくしゃべられてしまい、聞く方は失礼になると思って、うなずかなきゃいけないわけで、でも、そのうなずくことすら苦痛になっている状態。ほんとうにまいりました。やっとのことで台北・松山空港に着いた時にはグロッキーで、しばらく到着ロビーの椅子に座らなければならないほどでした。アブラハムはラクダ酔いしなかったんですかね。

聖書ふれあい街歩き

●ヘシュボン

荒野で出会った敵の中でもアモリ人の王シホンとバシヤンの王オグは難敵だったと言えるでしょう。

イスラエルは通らせてくれと言っただけなのですが、彼らは異常に警戒して通行を許可せず、戦うことになってしまいます。

アモリ人の王シホンはヘシュボンに住んでいた(申命記 1:4)とあります。ヘシュボンはヨルダン川の東側にあって、交易路に面し、軍事的にも重要な要衝でした。首都にするわけですから当然ではあります。この町を治めていれば、その周囲は自然に抑えることができる立地であったわけです。カナン先住民の中の一部族とされるアモリ人が、モアブ人の領地を占領し、シホンが王であった時代には「国境は堅固」(民数記 21:24)でしたが、イスラエルによって敗北させられてしまいました。イスラエルが占領した後はルベンの部族が治めるようになりました(ヨシュア 13:17)。

ソロモン時代に書かれている雅歌には、「あなたの目はバト・ラビムの門の傍らにあるヘシュボンの池」との形容が出てきます。バト・ラビムは人通りの多い門だと考えられますが、美しい町でもあったのでしょう。

ななめ聖書 先週のこたえ

す	ひ	べ	る	ぜ	き	ほ	の	で
ぜ	き	の	ほ	で	べ	ひ	る	す
る	で	ぼ	す	の	ひ	べ	き	ぜ
べ	ぼ	で	き	す	の	ぜ	ひ	る
き	ぜ	ひ	べ	る	で	す	ほ	の
の	す	る	ひ	ぼ	ぜ	で	べ	き
ぼ	の	す	ぜ	べ	る	き	で	ひ
で	き	べ	の	ひ	す	る	ぜ	ぼ
ひ	る	ぜ	で	き	ぼ	の	す	べ

- ① ぱらんのあれの
- ② かじつをみせる
- ③ わるいうわさ
- ④ ていさつ



第三次伝道旅行に

さて、アレクサンドリア生まれのユダヤ人で、聖書に詳しいアポロと言う雄弁家が、エフェソに来了。

彼は主の道をよく学び、イエスのことについて熱心に語り、また正確に教えていたが、ヨハネの洗礼しか知らなかった。

このアポロが会堂で堂々と教え始めた。これを聞いたプリスキラとアキラは、彼を招いて、もっと正確に神の道を説明した。

それから、アポロがアカイア州に渡ることを望んでいたのだから、きょうだいたちはアポロを励まし、かの地の弟子たちに彼を歓迎してくれるように手紙を書いた。アポロはそこに着くと、すでに恵みによって信じていた人々を大いに助けた。

彼は聖書に基づいて、メシアはイエスであると公然と立証し、ユダヤ人たちを力強く論破したからである。
(使徒言行録18:24~28)



アポロとアキラ夫妻

【簡潔な記事】

この使徒言行録を書いたのはルカですが、第三次伝道旅行の開始からエフェソまでのことについては、簡単にふれているだけです。ルカは福音書の最初にも「すべてのことを初めから詳しく調べ」「順序正しく」書く人です。詳しく聞かなかったのではなく、特筆すべきことがなかったのでしょう。もう少し踏み込んで言うなら、パウロにとってみれば、「すべての弟子たちを力づけた」としか表現できない、巡回の日々だったのでしょう。

いずれにせよ、しばらくエフェソで起こった出来事について語られていきます。

【アポロ】

アポロについて、この箇所以外では、コリントの手紙一に出てくるだけで、詳しくは触れられていません。しかし、非常に素晴らしい働きをしていたことだけは間違いありません。アポロについて少し整理してみることにしましょう。

①「アレクサンドリア生まれのユダヤ人」

タルソス出身のパウロもそうでしたが、国外で生活していたユダヤ人家族の元に生まれたことがわかります。

アレクサンドリアは、その名でわかるように、BC 331年、ギリシアのアレクサンドロス大王によって建設された、エジプトの地中海沿岸に位置する港湾都市です。ローマ帝国にあっては、ローマに次ぐ第二の都市で、当時の世界の学問と文化の中心地でした。それを象徴するアレクサンドリア図書館は古代世界最大の図書館で、数十万巻の巻物が所蔵されていたと言われています。もちろん、アポロがいた当時の話です。ですから、

世界中からあらゆる知識が集まる場所で、大学のような学術機関もあって、最先端の哲学、医学、天文学などが論じられていました。ユダヤ人の人口は多く、アレクサンドリアは当時のユダヤ教の中心地の一つでもありました。

実は、ギリシア語に翻訳された旧約聖書（七十人訳聖書）が作られたのもこの町です。ギリシア語しか知らないユダヤ人たちが多くなってきたからだとされていますが、アポロはこうした文化水準の高い環境で、優れた学問を吸収し、ギリシア哲学や七十人訳にも精通していたと思われます。

②「雄弁家」

「雄弁」ではなく「雄弁家」と紹介されています。ギリシア文化が残る当時の社会では、弁論術が極めて重要な学問でした。ですから、法廷や政治の場でスピーチをする専門家があり、訴訟での弁護をしたり、議会や市民集会での発言などを担っていました。つまり弁護士や政治家です。そこには教師も含まれていて、知識と説得力を持ち合わせた人物として尊敬されていたわけです。アポロも、このような職業についていたと考えることができます。パウロは「弱々しく、話がつまらない」（コリント二10:10）と言われているので、対照的だったはずですよ。

③「正確に神の道を説明した」

プリスキラとアキラはテント製作の職人でしたが、知識人アポロの不明な所を指摘して、指導していたことがわかります。すごいですね。さすがパウロは、この夫婦を伝道者にしていたのです。アポロはこの2人から、自分の足りなさを教えられているので、信仰を持ってまだ浅かったかも知れません。

キリスト教まるわかり Q&A

◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が異なるため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過ごすために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

顕現節(1/6～#3/4)

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

四旬節(#3/5～#4/12)

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

復活節(#4/20～#6/7)

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

聖霊降臨節(#6/8～#11/29)

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

待降節(#11/30～12/24)

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

降誕節(12/25～1/5)

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

【記念日】

母の日(5/11・5月第二)
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)
父の日(6/15・6月第三)
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)
宗教改革記念日(10/31・1517年)
収穫感謝日(11/23・11月第四)

【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)
聖書愛読週間(#3/23～29)
みふみの日(3月23日)
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)
最後の晩餐集会(#4月17日夕)
召天者記念合同礼拝(#6/1・6月第二*今年は第一)
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

教会紹介

●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙 2:5:17 など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙 2:19 ~ 20 など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記 15:26 など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙 1:5:51 など)

教会の信条

さがみはら きょうかい いか しんじょう かか
相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲
げています。

わたし
私たちはイエス・キリストを救い主として信じ
ています。

しゅ かみ くに ちか く あらた 改
主イエスは、「神の国は近づいた。悔い
めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、
ひとびと おし とお かみくに めぐみ
人々にその教えとみわざを通して神の国の恵み
を明らかにされ、そののち、わたしの罪を負って、
じゅうじか な と
十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の
くに すく みち ひら
国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の
くにぞく いもの わたし せいしょ
国に属して生きる者となった私たちは、聖書が
しゅうまつしめ じだい しめい まつと
終末と示しているこの時代に、使命を全うすべ
く、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と
しんこうこくはく もの とも かみ くに かぎ あた
信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与
えられた教会の一員とされたことを覚えながら、
せいらい たす いか せんじょう あゆ
聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩
みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

MEMO

単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

